

業績一覧 (2012)

論文

中瀬尚長, 鈴木浩司, 大浦圭一郎, 横井卓也, 大野一幸, 河井秀夫, 濱田雅之: 脛骨骨幹部 Gustilo 分類 IIIb 型開放骨折後長期創外固定装着例に対する Ender 法の治療経験. 別冊整形外科 61 : 202-205, 2012

栗山幸治, 蒲生和重, 上杉彩子, 樋口晴久, 河井秀夫: 橈骨遠位端骨折術後の手関節動態撮影による掌背屈運動の検討. 日本手外科学会雑誌 28(6) : 590-593, 2012.

蒲生和重, 栗山幸治, 上杉彩子, 大浦圭一郎, 樋口晴久, 河井秀夫: 橈骨遠位端骨折術後の前腕回内外トルクが手関節機能評価に及ぼす影響. 日本手外科学会雑誌 28(5) : 470-473, 2012.

蒲生和重, 上杉彩子, 栗山幸治, 大浦圭一郎, 樋口晴久, 河井秀夫: 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロックングプレートを用いた最小侵襲手術の治療成績. 日本手外科学会雑誌 28(5) : 453-457, 2012.

小島久典, 犬丸敏康, 宮嶋愛弓, 上田任克. 高齢者による手指で押す力の調節における日常運動の影響. 医学と生物学 156 : 660-665, 2012

坂口守彦: クジラ. おいしさの科学シリーズ, 3, 100-103 (2012)

植村興: 今考える食の安全 (13) 電子データを利用して食の安全・安心を知る 厨 (KURIYA), No. 220, 14-15, 2012

植村興: 今考える食の安全 (14) 生食グルメと食中毒 厨 (KURIYA), No. 221, 14-15, 2012

松山辰男: グルカゴンと糖尿病. 四條啜学園大学リハビリテーション学部紀要 7 : 1-12, 2011.

杉原勝美, 北山淳, 川上永子: 4 種類の簡単な認知的作業を順番におこなう作業提示の影響. 四條啜学園大学紀

要, 7 : 31-35, 2012.

Aoki O, Otani Y. The Visual Dependence on the Body Sway was Emphasized by One Leg Standing in Healthy Subjects. In Proceedings of Asia-Oceanian Conference of Physical Rehabilitation and Medicine (AOCPRM 2012); 69-72, 2012.

Otani Y, Aoki O, Murakami M, Kato J. The Difference of the Trunk Acceleration during Gait between Functional Ambulation Categories in the Stroke Patients. In Proceedings of Asia-Oceanian Conference of Physical Rehabilitation and Medicine (AOCPRM 2012); 103-109, 2012.

新子広美: PC 自習室更改による学生満足度と利用状況, 四條啜学園大学紀要, 7 : 13-23, 2012

著書

森永敏博他: 2013 徹底攻略柔道整復国家試験「運動学」, 医道の日本社, 149, 2012

上田任克: 手づくり自助具設計指南. OT ジャーナル 46 : 1007-1011, 2012

銀山章代: I・ADL 第3版—作業療法の戦略・戦術・技術 p452~457 ソーシャルスキル 編者 生田宗博 三輪書店

坂口守彦: どんな魚がうまいか. 成山堂書店, 東京 (2012)

坂口守彦: 魚介類のエキス. 水産ハンドブック, 379-390, 講談社, 東京

緑川知子: 「アパレルと健康」—基礎から進化する衣服まで— 6.4 障がい者の衣服 164-167 日本家政学会 被服衛生学会 編 井上書院 東京

松下太: 介護職員実務者研修テキスト第10巻障害の理解 II (介護職員関係養成研修テキスト作成委員会編). 一

般財団法人長寿社会開発センター. 東京:102-108, 2012.

学会発表その他

河井秀夫: これからの整形外科卒後研修とキャリアパス形成. 第118回中部日本整形外科災害外科学会, 大阪市, 平成24年4月.

蒲生和重, 大浦圭一郎, 上杉彩子, 栗山幸治, 河井秀夫: 高齢者橈骨遠位端粉碎骨折に対する術中創外固定を用いた掌側ロッキングプレート固定の有用性. 第55回日本手外科学会, 横浜市, 平成24年4月.

澁谷亮一, 河井秀夫: 腱反射を定量評価しての手根管症候群の重症度の評価. 第55回日本手外科学会, 横浜市, 平成24年4月.

河井秀夫: 青雲の白肩津—古事記編纂1300年—. 四條畷学園全学人権教育研修会, 大東市, 平成24年8月.

栗山幸治, 上杉彩子, 大浦圭一郎, 蒲生和重, 樋口晴久, 辻成佳, 横井拓哉, 河井秀夫, 濱田雅之: 人工肘関節置換術後上腕骨骨幹部骨折偽関節の1例. 第24回日本肘関節学会, 長岡市, 平成24年2月.

上杉彩子, 栗山幸治, 大浦圭一郎, 蒲生和重, 河井秀夫, 濱田雅之: 小児上腕骨外側顆骨折に対する吸収糸を用いたtension band法. 第24回日本肘関節学会, 長岡市, 平成24年2月.

大浦圭一郎, 栗山幸治, 上杉彩子, 蒲生和重, 河井秀夫, 濱田雅之, 山中西佳倫, 村瀬剛: 上腕骨顆上骨折後内反肘変形に後外側回旋不安定症を合併した1例. 第24回日本肘関節学会, 長岡市, 平成24年2月.

松尾拓哉, 籠橋有紀子, 千賀靖子, 小西啓悦, 福田博美, 篠崎圭子, 竹森久美子, 木原隆英, 村上哲男, 大谷浩, 近藤厚生: 微量栄養素と先天異常についての意識調査(第5報). 第52回日本先天異常学会. 東京. 2012

上田任克: 日本作業療法士協会現職者講習会「世界と日本の作業療法の動向」(大阪)2012.8

大畑加代子, 銀山章代, 早川智美: 第32回近畿作業療法学会 料理の習慣化を目指した集団作業療法の実践 料理グループ「ほどほど感を知り料理の幅を広げよう」

銀山章代, 山本尚美: 第28回大阪作業療法学会 南相馬市でのボランティア活動報告 うつ予防のアプローチ

銀山章代: 第28回近畿人間作業モデル事例検討会 デイケア通院中の統合失調症 60代女性への人間作業モデル理論を用いたアプローチ

銀山章代: 第29回近畿人間作業モデル事例検討会 作業に関する自己評価・改訂版(OSAII)の実施方法の検討

坂口守彦: (1) 京都大学放談会: どんな魚がうまいか. 9月8日, 於京都大学 楽友会館

坂口守彦, 石村哲代, 奥田玲子, 松田有加, 荻野目望, 吉岡立仁, 山岸海: (2) 平成24年度日本調理科学会 かつお「だし」の成分—普通肉と血合肉の違い. 8月24日, 於秋田大学教育文化学部

坂口守彦: 私はこう思う—ウナギ価格高騰. 日刊水産経済新聞, 8月13日(2012)

松山辰男: 糖尿病とその合併症予防 第9回四條畷学園大学市民公開講座「いきいき生きる」(2012年7月7日, 大東)

雨夜勇作: 市民公開講座 7月7日 「糖尿病とその予防」 講演 運動と足のケア ～運動は心と体の調整を担います～

雨夜勇作: 第4回北河内ブロック新人症例発表会(1月20日) 準備委員長及び座長兼任

松下太: 脳いきいき! 日常生活で出来る認知症予防. 枚方市高齢社会室主催高齢者健康づくりプロジェクト介護予防普及啓発講座(枚方市), 2012.1.20, 6.22, 12.21(計3回)

松下太: 作業療法における協業・後輩育成. 社団法人大

阪府作業療法士会主催現職者共通研修(池田市,大東市),
2012. 1. 22, 8. 19 (計2回)

松下太: 認知症予防. 枚方市高齢社会室主催元気アップ
総合講座(枚方市), 2012.1.26, 3.22, 5.18, 7.20, 9.21,
11.16 (計6回).

松下太: 疾患と生活障害 - 高齢者の特性と認知症の理
解-. 川村義肢(株)/パシフィックサプライ(株)社内研
修スキルアップ講座2011(大東市), 2012. 2. 4

松下太: 認知症のケアとリハビリテーション. 東大阪市
立介護老人保健施設四条の家職員研修(東大阪市), 2012.
9. 7

松下太: 介護技術, トランスファーについて. 守口訪問
介護事業者連絡会研修会(守口市), 2012. 11. 6

松下太, 杉原勝美, 北山淳: 近赤外分光法(NIRS)を
用いた前頭葉機能検査遂行時の脳活動の検討. 第32回近
畿作業療法学会(大阪), 2012. 10. 7

松下太: レクリエーション体験学習, 共感的理解と基本
的態度の形成. 京阪ライフサポート(株)主催ホームヘル
パー養成研修講座2級課程(枚方市), 2012. 11. 30

松下太, 杉原勝美, 北山淳: 近赤外分光法(NIRS)を
用いた前頭葉機能検査遂行時の脳活動の検討. 第32回近
畿作業療法学会(大阪), 2012, 10.

杉原勝美, 古川宏, 藤原瑞穂: 効率を制御する作業遂行が
認知機能面に及ぼす影響. 第46回日本作業療法学会(宮
崎), 2012, 6.

O Aoki, Y Otani : The Visual Dependence on the Body
Sway was Emphasized by One Leg Standing in
Healthy Subjects. The 3rd Asia-Oseanian Conference
of Physical and Rehabilitation Medicine, 2012. 5 (Bali,
Indonesia)

青木修, 大谷啓尊: 異なる視覚指標距離における外乱動
揺刺激に対する反応時間の検討. 第47回日本理学療法士

学術大会 2012.5 (兵庫)

Y Otani, O Aoki, M Murakami, J Kato: The Difference
of the Trunk Acceleration during Gait between
Functional Ambulation Categories in the Stroke
Patients. The 3rd Asia-Oseanian Conference of
Physical and Rehabilitation Medicine, 2012. 5 (Bali,
Indonesia)

大谷啓尊, 青木修: 脳血管片麻痺者における体幹加速度
波形を用いた新たな時間因子指標の有用性. 第47回日本
理学療法士学術大会 2012.5 (兵庫)

Yoshitaka Otani, Osamu Aoki, Masahito Murakami,
Junichi Kato: Assessment of determining the
degree of gait independence in stroke patients:
Comparison of gait stability Index derived from trunk
acceleration with Berg Balance Scale. The 8th
Pan Pacific Conference on Rehabilitation 2012
(Manila, Philippines)

長谷川昌士, 山本澄子, 北山淳, 杉原勝美: 片麻痺者の動作
特性を考慮した手すりの製作および効果判定について
- ベッドからの立ち上がり動作の検討 -. 第46回日本作
業療法学会(宮崎), 2012, 6.

北川智美, 松木明好, 三谷保弘, 川崎純, 宮本靖, 長谷
川昌士, 北山淳, 向井公一: 評価体験を目的とした短期
間の臨床実習の実態調査. 第25回全国リハビリテーシ
ョン学校協会教育研究大会・教員研修会, 2012, 福岡

北川智美, 樋口由美, 藤堂恵美子, 小栢進也, 今岡真和,
青木敏, 上田由喜子, 千須和直美, 生田英輔, 森一彦:
ニュータウンに居住する専業主婦の外出頻度および主観
的健康感との関係. 第71回日本公衆衛生学会総会, 2012,
山口

今岡真和, 樋口由美, 呉本冬馬, 藤堂恵美子, 北川智美:
施設入所者の移動様式による転倒リスク要因の相違につ
いて. 転倒予防医学研究会第9回研究集会, 2012, 東京

今岡真和, 樋口由美, 呉本冬馬, 藤堂恵美子, 北川智美,

七川大樹, 黒崎恭平, 増栄あゆみ: 虚弱な施設入所高齢者の転倒リスクは入所時に評価可能かー介護老人保健施設における前向き調査ー. 生活環境支援系理学療法研究部会第4回学術集会セミナー, 2012, 埼玉

永野巧, 三谷保弘, 橋本雅至, 高嶋厚史, 北川智美: 高校女子バドミントン選手の運動機能とコンディショニング指導に向けての課題. 第52回近畿理学療法学会, 2012, 奈良

三谷保弘, 向井公一, 北川智美, 藤井健司: 立位での楽器演奏姿勢と体幹筋活動について. 保健医療学学会第3回学術集会, 2012, 大阪

高嶋厚史, 三谷保弘, 永野巧, 北川智美: 高校女子バドミントン選手の運動機能と傷害特性. 保健医療学学会第3回学術集会, 2012, 大阪